

福島第一原子力発電所緊対本部の新たな体制について

2017.3.30

TEPCO

東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー

1. 背景・目的

- 福島第一原子力発電所は、「原子力緊急事態解除宣言」は行われていないものの、各プラントは「冷やす」機能が確保され、安定した状態を維持している。
- 当発電所では、平成23年3月11日の事故以来、免震棟に緊对本部を設置し対応してきているが、現在は、緊急時組織として対応する事故後の応急対策から、各部・各グループが計画的に行う廃炉作業に移っている。
- 緊对本部には、当直員及び原子力防災要員として常時約100名の社員が交替で勤務しているが、緊急時組織の各班に所属する社員は、グループを離れて免震棟にて勤務しているため、連携（コミュニケーション）が取りづらい状況となっている。
- 廃炉作業における業務の効率化およびトラブル対応の迅速化等の観点から、緊急時体制を維持しつつ、新事務本館の組織（各部・各グループ）と一体的に運用する体制の検討・検証を進めてきた。
- これまでの検討・検証結果にて、トラブルや緊急事態（EAL）が発生した際にも迅速な対応が可能であることが確認できたことから、平成29年4月3日を目途に新たな体制へ移行することとした。



- 新事務本館に緊対室を整備し、新事務本館の組織と一体的に運用する体制とすることにより、緊急時対応と廃炉作業を両立させた更なる効率的業務運営を目指す。

2. 新体制概要

- 免震棟緊対本部には、プラント監視業務を行う当直員とその当直員と連携を図る運転班を残し、他班については、新事務本館緊対室にて業務を遂行する。
 - 新事務本館緊対室には、本部長のほか各班長が常駐する。班員は、通報に関わる情報班が常駐するが、それ以外はオンコール対応とする。
 - 休日・夜間も上記と同様な体制とする。
 - 作業連絡やトラブル等の発話、通報文作成及びFAX送信は、新事務本館緊対室にて実施する。
 - 警戒事象（AL）となる事象・故障が発生した場合には、原子力防災要員は速やかに免震棟緊対本部へ移動し緊急時対応にあたる。
- ✓ 新事務本館緊対室が使用可能な場合
参集要員が免震棟に到着するまでの間は、新事務本館にて対応を行う。免震棟と新事務本館での情報共有を終えた後に免震棟緊対本部に緊急時対応を引き継ぐ。
 - ✓ 新事務本館緊対室が使用不可の場合
新事務本館からの退避後、参集要員は速やかに免震棟に移動し対応にあたる。参集要員が免震棟に到着するまでの通報連絡については、本社にて実施する。

3. 体制見直しのポイント／検討・検証結果

- ◆ 体制見直し後において、原子力安全の観点からトラブル発生時の対応力が現在と同等以上であること、また、万が一緊急事態（EAL）に至る事象が発生した際にも迅速な対応が可能であることを確認するため、実働検証を実施。
 - ・トラブル発生時の迅速な対応（情報共有、現場出向、通報連絡等）
 - ・新たな警戒事象、緊急事態発生時の迅速な対応（情報共有、要員参集、通報連絡等）
 - ・新事務本館緊対室-免震棟緊対本部（集中監視室）との連携

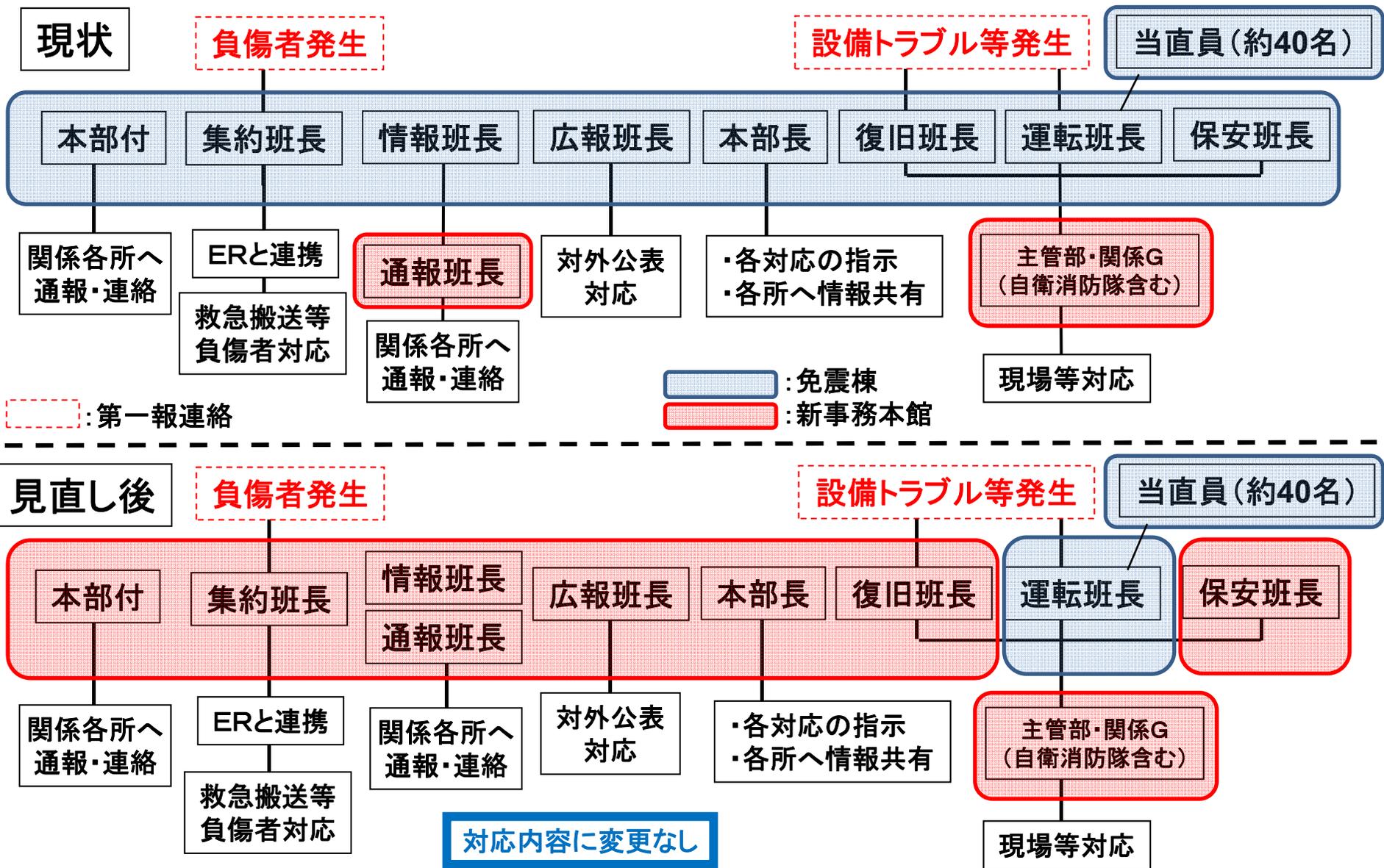
- ◆ あらゆる角度から課題・懸案を抽出し、対策・解決策を検討。



検討・検証結果

- 新事務本館緊対室に情報共有ツール（TV会議システム、スカイプ、ホットライン）、入退域管理棟前に移動車両を配備したことにより、トラブル発生時に迅速な対応が可能であることを確認した。
- 入退域管理棟前に緊急時専用のマイクロバス等を配備し、参集ルールを明確化したことにより、緊急事態発生時における免震棟への参集が速やかに行えることを確認した。
- 新事務本館内に、モニタリングポスト、ダストモニタ、風向風速などの監視機材を設置したことにより、これまでと同様な監視が可能であることを確認した。

参考(1). 体制図



参考(2). 緊対室執務者数比較

役割	現状 (免震棟緊対室)	見直し後	
		(免震棟緊対室)	(新事務本館緊対室)
本部長(代理)	1名	—	1名
復旧班	班長:2名 班員:多数	—	班長:2名 班員:自席待機
運転班	班長:1名 班員:複数名	班長:1名 班員:1名	班長:— 班員:自席待機
保安班	班長:1名 班員:多数	—	班長:1名 班員:自席待機
集約班	班長:1名 班員:複数名	—	班長:自席待機 班員:自席待機
広報班	班長:1名 班員:複数名	—	班長:1名 班員:自席待機
情報班	班長:1名 班員:複数名	—	班長:1名 班員:3名
本部付き (警備誘導班兼務)	班長:1名 班員:1名	—	班長:1名 班員:自席待機
原子炉主任技術者	1名	—	1名
	班長(炉主任):9名 班員:多数	班長:1名 班員:1名	班長(炉主任):7名 班員:3名

参考(3). 各班業務内容

役割	業務内容
本部長(代理)	統括管理
復旧班	設備に異常が発生した場合、班長・副班長の指示に従い現場出向、状況確認／N2装置パトロール／復旧班備品のチェック
運転班	運転員の統括管理／プラント状態を本部内へ周知／プラント設備異常時の情報発信
保安班	トラブル発生時の放射線管理／放射線量・放射能濃度監視並びに公表
集約班	建物鍵・車両鍵管理／緊急放送発話／消耗品管理／備品管理／視察者情報窓口
広報班	対外公表対応
情報班	通報文作成／情報収集／各所からの問い合わせ対応
本部付き	作業安全に関する情報を本部内に周知／トラブル発生時の警察、海保、労基対応／会議サポート(システム操作)
警備誘導班	発電所の出入管理／発電所の警備／防護施設の運用
原子炉主任技術者	原子炉保安監督

参考(4). 新事務本館緊対室レイアウト図・写真

